

# 包摂的な地域コミュニティの 実現に必要なこと

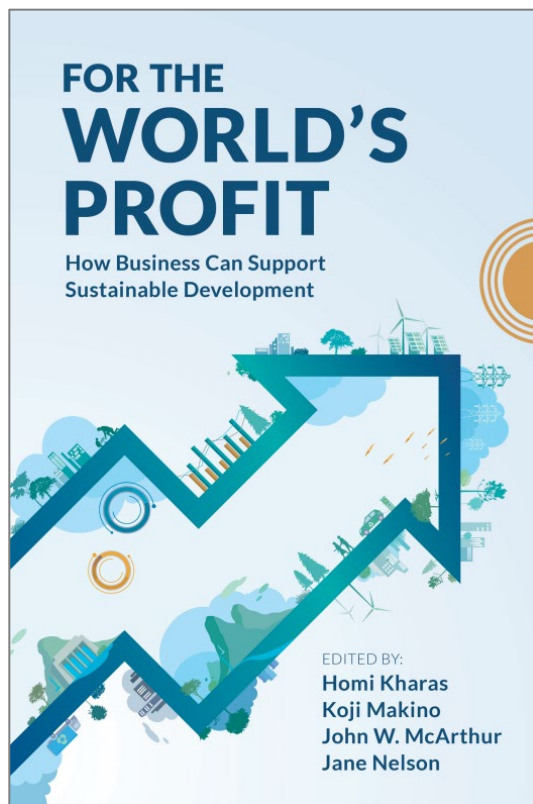
2026年3月24日

放送大学客員教授  
損保ジャパン カルチャー変革推進部シニア・アドバイザー  
関 正雄

# どうすれば意味のある エンゲージメントができるか？

- コーディネーターとファシリテーターの役割は重要
- 協創するインパクトを測定・評価し続けることで、  
最大化する
- エンゲージメントは、参加者の能力開発の場  
(エンゲージメントは参加者を変える)
- 開示は情報の共有、エンゲージメントは責任の共有

# ブルッキングス研究所の最新刊から

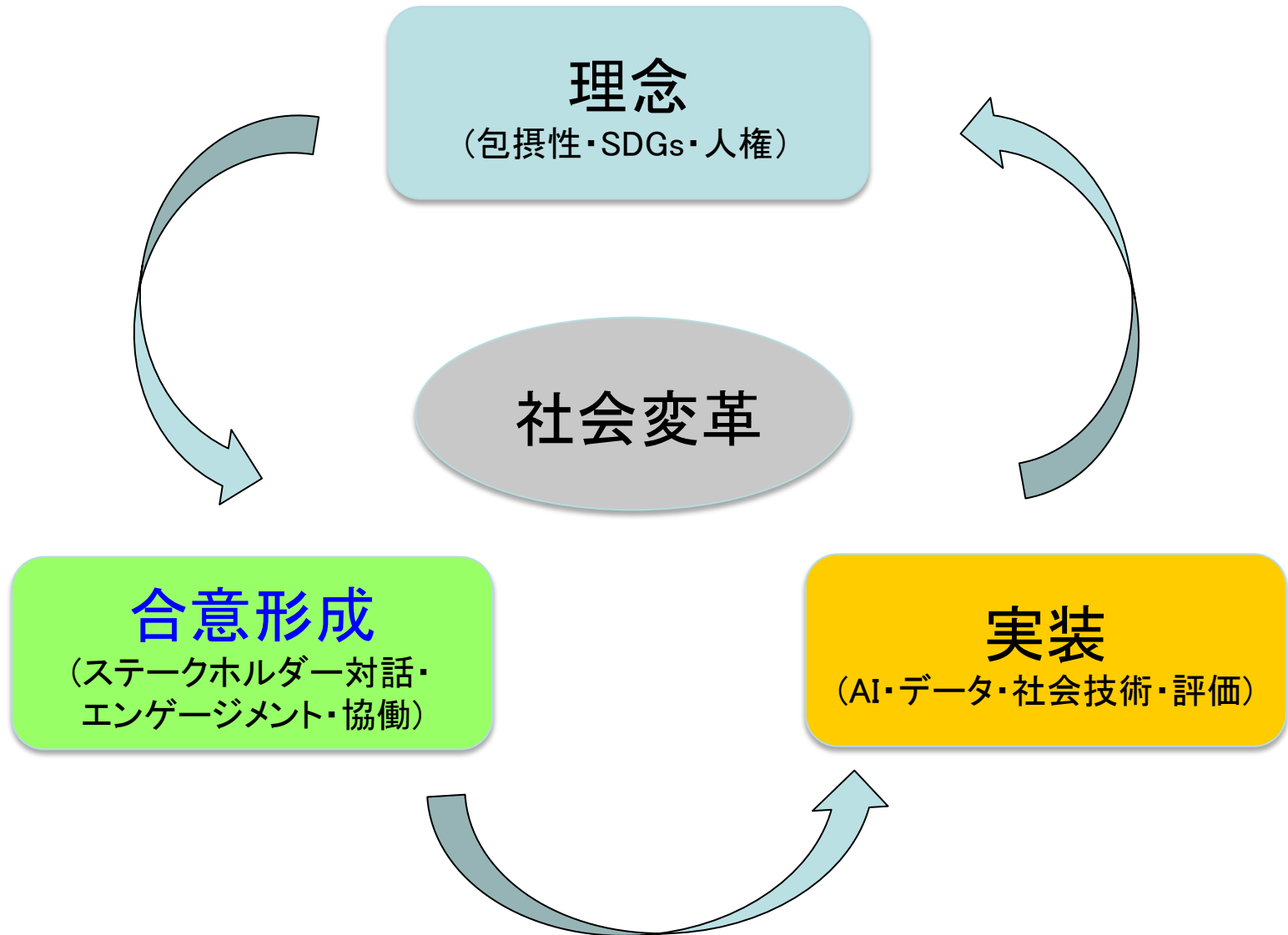


- 経団連：SDGsを明確に中核に据え、会員企業を方向付ける世界的に稀有なビジネス連盟。国内企業のSDGs加速を主導。
- 日本企業：2018–2022の急速なSDGs普及浸透は世界的にも例がない。「国全体でのアプローチ」として高く評価。
- 日本：「企業×政府×市民社会×教育×メディア」の統合的なSDGs推進モデル。

(第1章、第2章、第5章で言及)

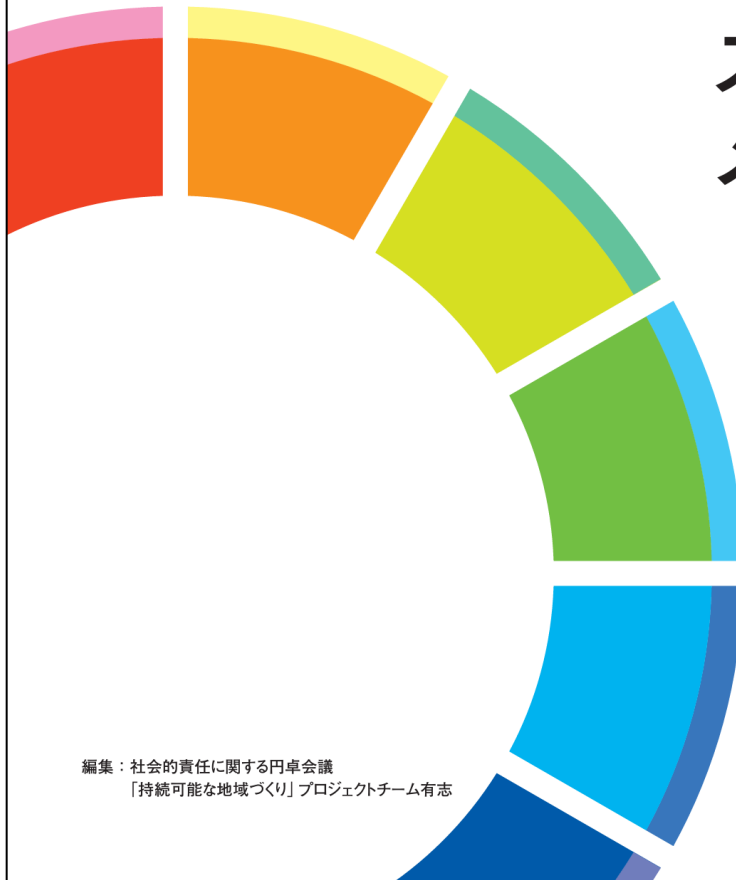
ホミ・カラス、牧野耕司、ジョン・W・マッカーサー、  
ジェーン・ネルソン(編著)  
ブルッキングス研究所(2025年1月)

# 「理念 → 合意形成 → 実装」を循環させる



多様な課題に、対話と協働で挑む  
『地域円卓会議』の

ス  
ス  
メ



編集：社会的責任に関する円卓会議  
「持続可能な地域づくり」プロジェクトチーム有志

\* マルチステークホルダー・  
プロセスの実施例

みらいファンド沖縄が  
コーディネータとなって、  
地域円卓会議を  
2010年から140回開催。

ご清聴ありがとうございました